

まう理由として、大きく二つの点が指摘されています。

一つは、肉親や年下などの近しい人に対して、自分の気持ちを改めて言葉にして伝えることに照れや恥ずかしさを感じる日本人の気質です。この点については、親や教師が、「子どもに自信を与え、子どもの心を動かし、子どもの心に嬉しいもの、懐かしいものとして、いつまでも残る。」という褒めることの効果と、「即効性があるが、持続性は乏しく、その場では言うことを聞いても、また同じ過ちを繰り返すことが多い。」といった叱ることの長所と短所を自覚し、日々、工夫したり、努力したりするしかないと思います。

もう一点は、子どもを叱る材料はすぐ目につくのに、褒めることはなかなか見つからないことです。このような方は、次の三点を心がけることをお勧め致します。

一、子どもをよく見ること。日々の何気ない子どもの言動や態度、表情を見ていけば、点数や順位、試合結果、身なり、挨拶など、目に見える面だけにとらわれず、目に見えない子どもの頑張りや微妙な変容(成長)に気づく。「いつも同じ様子」「普通の子で、特に目立たない児童」「明るく快活で、屈託のない生徒」というような表面的

で、一面的な「その子理解」は、子どもを見ていない証拠である。

二、長所と短所は表裏一体であること心得て、長所を肯定的に見るように努めること。もちろんすべてではないが、叱責したい短所を裏返すと、それはほとんど長所であると理解していれば、褒めることはたくさんある。たとえば、腕白な子は、「活発で、行動力のある子」である。消極的な子は、「謙虚で、物静かで、控えめな子」である。そして、整理整頓ができない子に対しては、「だらしない。きちんと片付けろー」と叱りつけたいところだ。だが、「あなたはだらかで、細かいことにこだわらない子だ。だから、部屋や机の上が散らかっていても、気にならないのだと思う。少しくらい散らかっていても気にしないあなたのだらかさは、あなたの長所で、これからも伸ばしてほしい。でも、母さんは、勉強するときは、あなたにきちんと整頓した机で勉強してほしい。面倒がらずに、部屋や机を持ち物を整理整頓できる人になってほしいと願っている。」というような接し方を心がけたい。そして、親(教師)としての自分も、日々、整理整頓を頑張ることが大切だ。

三、「自己一致」した褒め方を心がけること。「目口一致」とは、思ったこと

や感じたことをそのまま言葉にして伝えることである。子どもの絵を、内心で「何て下手な絵だろう」とがっかりしているのに、「上手い。素晴らしい。天才。」などと心にもないことを言うのは「自己不一致」である。大切なことは、たとえ稚拙な絵であっても「よく頑張った。一生懸命描いた。嬉しい。」と感ずる気持ちである。それは、子どもに対して無条件の愛情を抱く親と、児童・生徒の健やかな成長を願う教師であるからこそ感ずることのできる不思議な心の動きである。そして、その気持ちを自分の言葉で子どもに伝えることが、子どもを褒めることである。

人を褒めることはなかなか難しいことですが、子どもに、「髪の毛が生きてっごたいねえ。」「絵は下手だが、構図は一番いい。」と言えるような大人でありたいものです。



町づくり推進係

たてしな スマイル交通 年末年始 運休便のお知らせ



次のとおり運休便があります。

西回り線

● 1月2日(水)～8日(火)

第1便運休

● 1月2日(水)～3日(木)

第1・2便運休

● 12月31日(月)・1月1日(火)

全便運休

東・南回り線

● 12月31日(月)・1月1日(火)

全便運休

シラカバ線

● 12月29日(土)～1月3日(木)

第1・2・7・8便運休

● 1月4日(金)～8日(火)

第1・8便運休

※第9便は現在運休中です。